



令和2年11月
聖マリア学園
吉野幼稚園

主 題：感謝する

聖書の言葉：「成長させてくださったのは神です」（第1 コリント3：6）



コロナ禍の下での時間短縮や種目の見直しなど、懸案事項の多かった運動会でしたが、絶好の秋晴れのもと、多くの保護者の方々にお越しいただき、無事終了することができました。保護者の皆様方のご理解・ご協力、誠にありがとうございました。大きな行事も一つ終わり、少しほっとしているところです。

さて、今回も前回に引き続き、子供たちが毎日口ずさんでいるお祈りについて説明したいと思います。今回は、「アヴェマリアのお祈り」について説明したいと思います。

「アヴェマリアのお祈り」は「アヴェマリア、恵みに満ちた方、主はあなたとともにおられます。あなたは女のうちに祝福され……」（この後は、子どもさんに聞いてみてください）という祈りで、クリスマスの「聖劇」でも有名な受胎告知の場面で、天使ガブリエルがマリア様に言った言葉です。そのあとは、マリア様と胎内の御子を祝福する言葉が続き、最後に、罪びとである私たちの今現在と臨終のときの、マリア様への取り次ぎを願っています。ご承知のように、イエス様の母であるマリア様は、全人類の母でもあると思います。うれしい時、悲しいとき、つらい時など、家族の誰かに特に母親に話を聞いてもらいたい時があります。そのようなときに、自然とこの祈りが口ずさんでいけるといいなと思います。

お祈りの形としては、「主の祈り」や「アヴェマリアの祈り」など、決まった形の祈りもありますが、その時の自分の心に思い浮かんだ自然な思いを祈ることも可能です。なぜなら祈りは神さまと自分の対話だからです。神さまと人との対話では、必ず神さまのほうから私たちに語りかけてくださっています。たとえ、その声が聞こえなくても！ 神さまへのお返事として、お祈りをするのが大事だと思います。

幼稚園の活動や家庭での生活など、いろいろな場面で「お祈り」を日常的にさせたいものです。このことは、情操教育の面からもとても大事なことだと思います。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

園長 野田弘之

今月のねらい

実りをもたらして下さる神様に そして 勤労感謝の慰問を通して 自分の知らないところで
自分達の為に 働いて下さっている方がいること その方々に 守られて生活できていることを
知り 感謝の心を持つ

秋の深まりを 園外保育を通して感じ 自然に親しむ